

ファイルヘッダー・ドロッププログラム

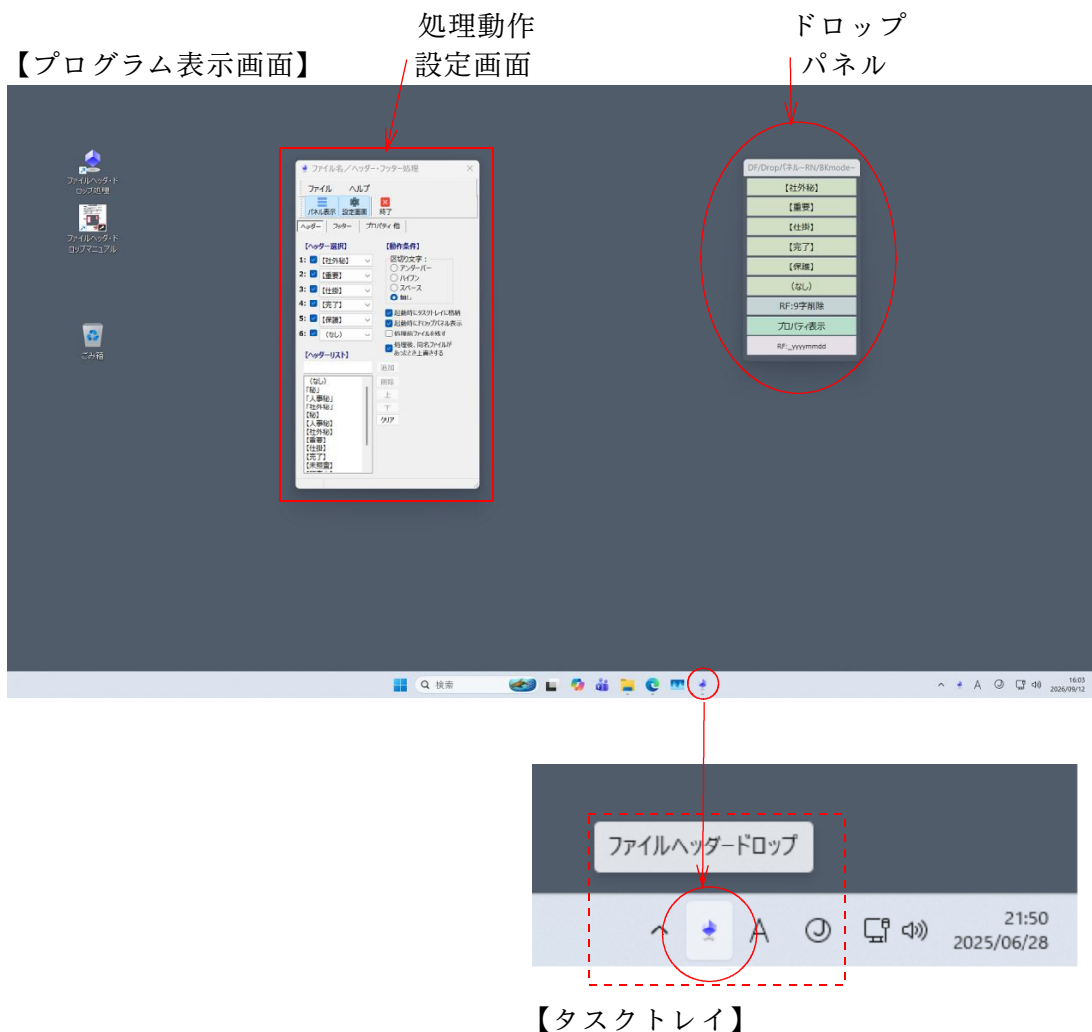
作成 2026-09-12

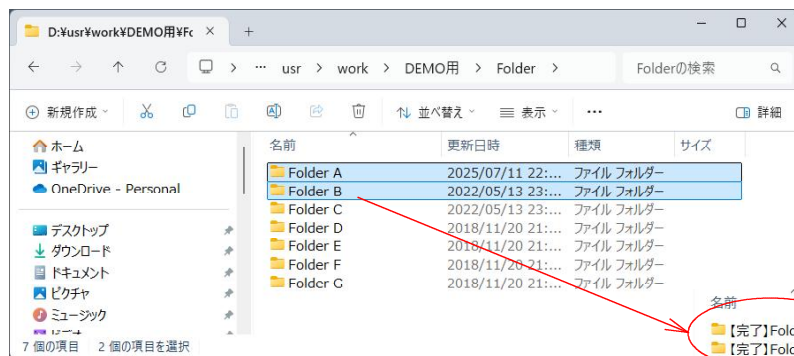
1. はじめに

このプログラムはファイルやフォルダーをドラッグ&ドロップしてファイルの先頭にヘッダーを付けたり、ファイルの最後に日付を追加するプログラムです。

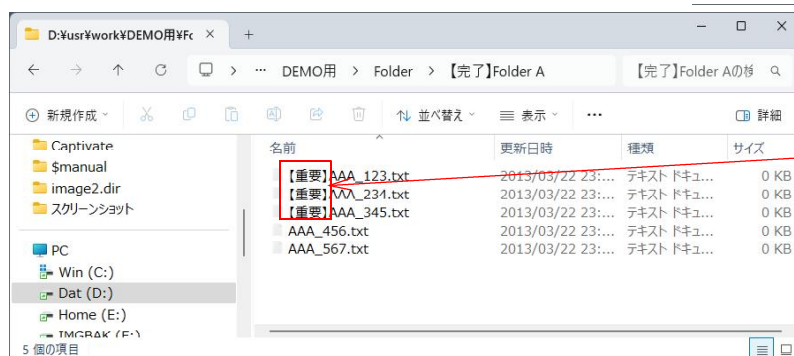
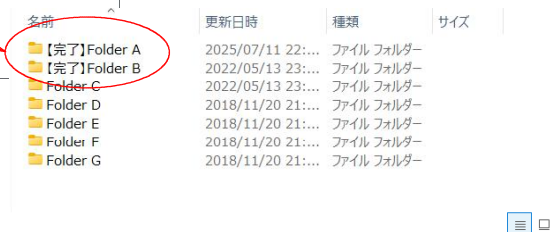
- ・所定のヘッダー（最大6個）を設定しておくことによって、「ドロップパネル」ウィンドウにドロップしたファイル/フォルダーのファイル/フォルダー名に「秘密等級」「進捗管理」等のヘッダーを追加・削除・変更することが可能になります。
- ・リビジョン管理にファイル/フォルダーのフッターとして日時を追加処理します。同日フッターファイルで99までリビジョン管理番号がとれます。
- ・ファイルの配布前にプロパティの確認ができます。

タスクトレイにアイコン登録し、常駐動作させるファイルフォルダーツールになっています。
(動作環境 Windows11/64bit)

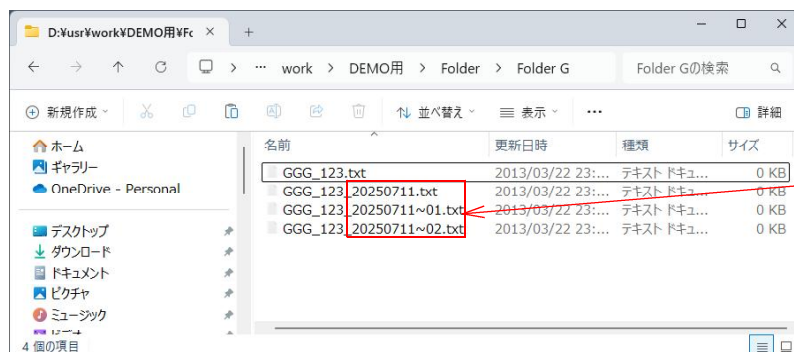




フォルダーに【完了】ヘッダーを付加



【重要】ヘッダーを付加
瞬時に複数ファイルにヘッダーを付加したり取り外すことができます。



日付をファイルに追記してファイルのリビジョン管理ができます。

2. プログラムの起動・終了

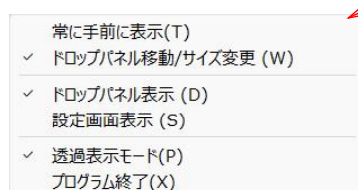
プログラムを起動すると、「ドロップパネル」ウィンドウが起動します。
同時にタスクトレイにアイコンが表示します。

※インストール時に、プログラムの自動実行をおこなう設定ができます。

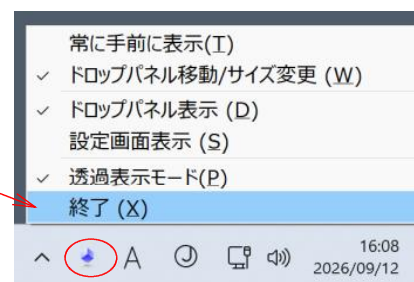
スタートアップアプリにプログラムを登録します。

C:\Program Files\SatoATLR\FL_Drop(x64)\FL_HDrop.exe

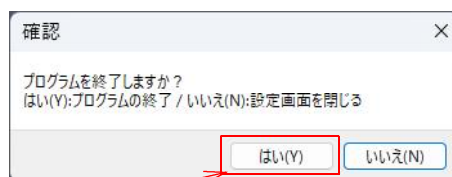
- ・パネル上の任意の場所でコンテキストメニューが表示します。
(マウス右クリック)



- ・タスクトレイアイコンのコンテキストメニューからプログラムを終了することができます。



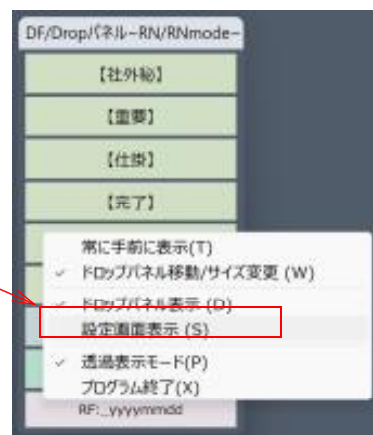
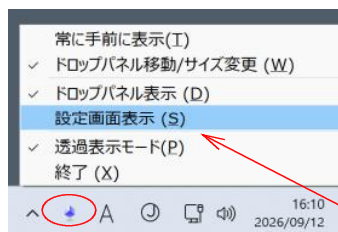
※設定画面表示中は設定画面を閉じるかプログラム終了の確認ダイアログが表示します。



プログラムを終了するときは[はい(Y)]をクリックします。

3. 設定の画面の表示

- ・パネル上の任意の場所でコンテキストメニューが表示します。(マウス右クリック)
設定画面表示を選択します。



- ・タスクトレイアイコンのコンテキストメニューから設定画面を表示することもできます。

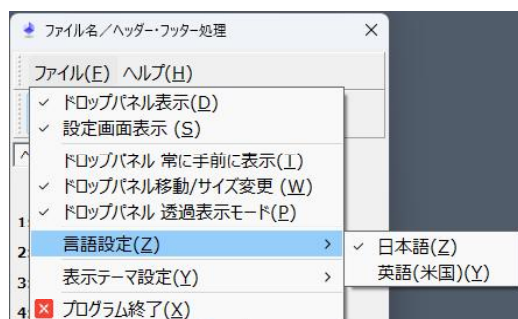
設定画面には、ヘッダー、フッター、そのほかのプロパティをそれぞれ設定するための3つのタブ画面があります。



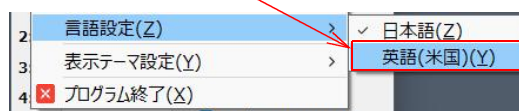
4. 言語設定

本プログラムはプログラムを英語モードで実行することができます。

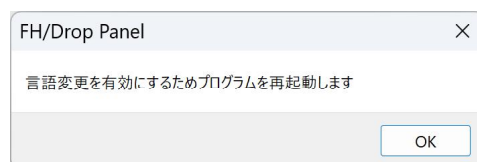
- ・ファイルメニュー プルダウンメニューの言語設定から選択します。



- ・英語(米国)を選択します。

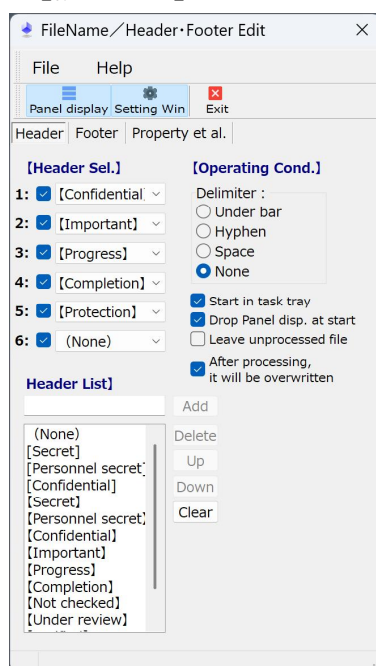


- ・プログラムの再起動ダイアログが表示します。

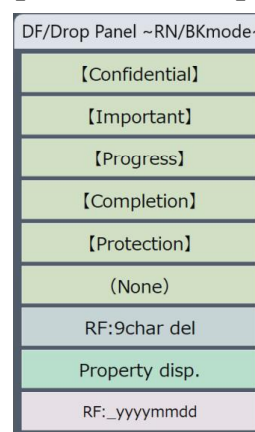


英語モードで表示した設定画面とドロップパネル

【設定画面】



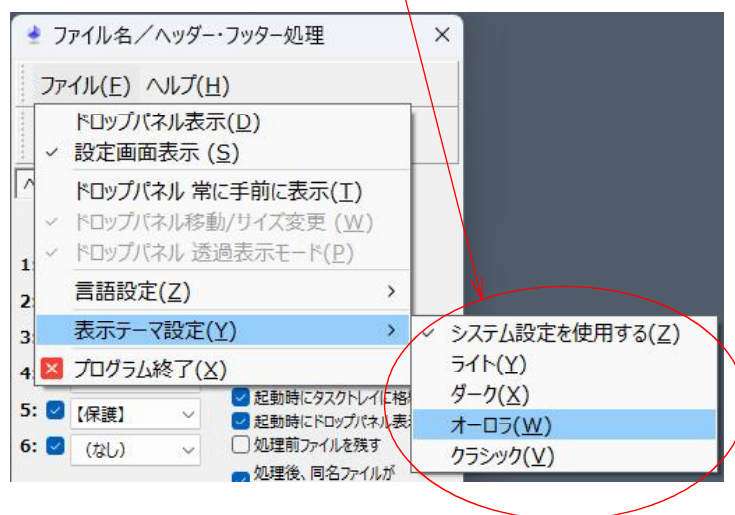
【ドロップパネル】



5. 表示テーマの設定

表示テーマはシステム設定、ライト、ダーク、オーロラ、クラシックの5種類から好みの表示ができます。

- ・ファイルメニュー プルダウンメニューの表示テーマ設定から選択します。

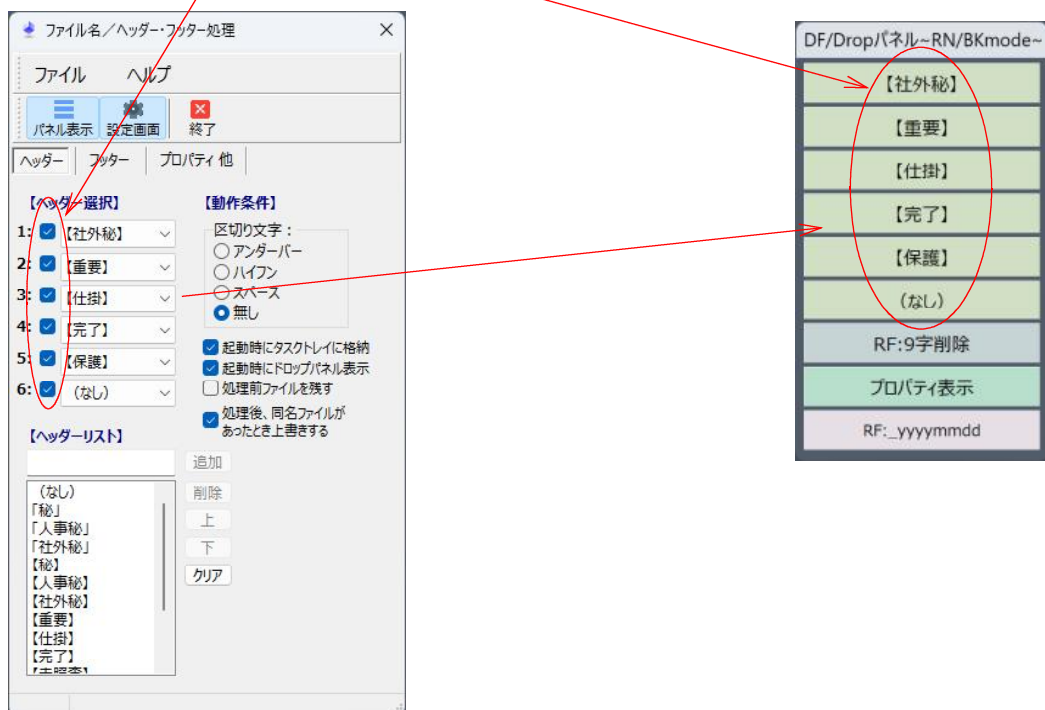


【オーロラ】

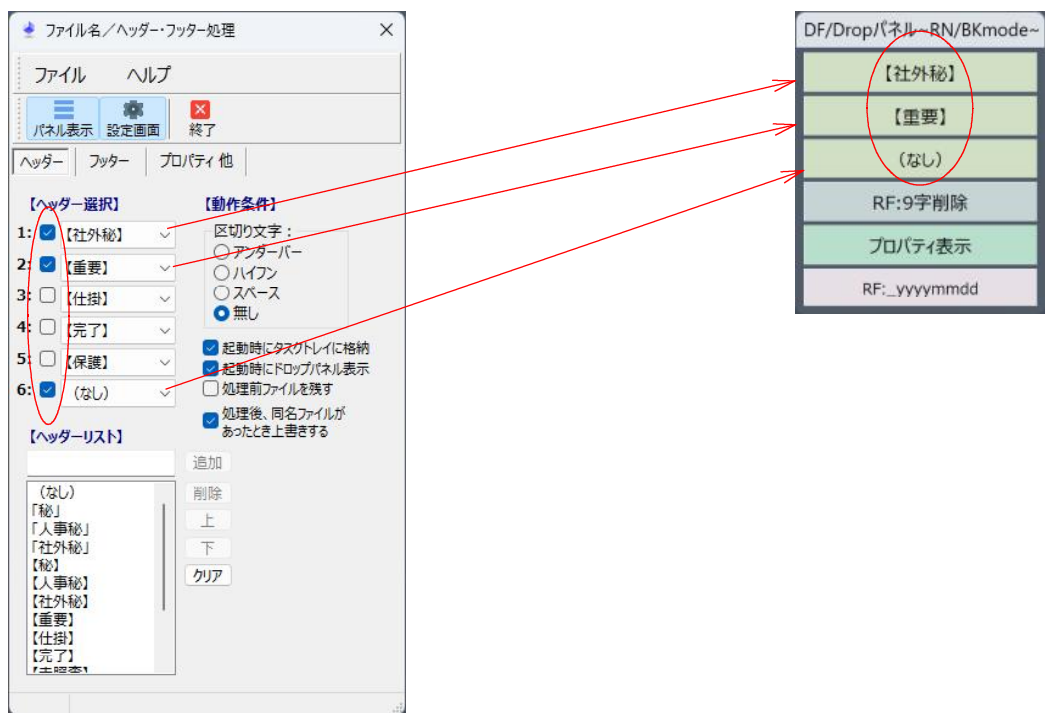


6. ヘッダ選択設定

ヘッダはすべてチェックすると最大6種類の選択パネルが表示する。



3個選択した状態：パネルも3個表示する



ヘッダーはプルダウンしたリストから選択します。

【ヘッダー選択】

1: ☒ 【社外秘】

2: ☒ 【重要】

3: ☒ 【社外秘】

4: ☒ 【仕掛】

5: ☒ 【未照査】

6: ☒ 【照査済】

【保護】

ヘッダーリスト入力フィールドでヘッダーを作成
追加、削除、などリスト登録ができます。

【ヘッダーリスト】

新規

(なし)
「秘」
「人事秘」
「社外秘」
【秘】
【人事秘】
【社外秘】
【重要】
【仕掛】
【完了】
【未照査】
【照査中】

追加
削除
上
下
クリア

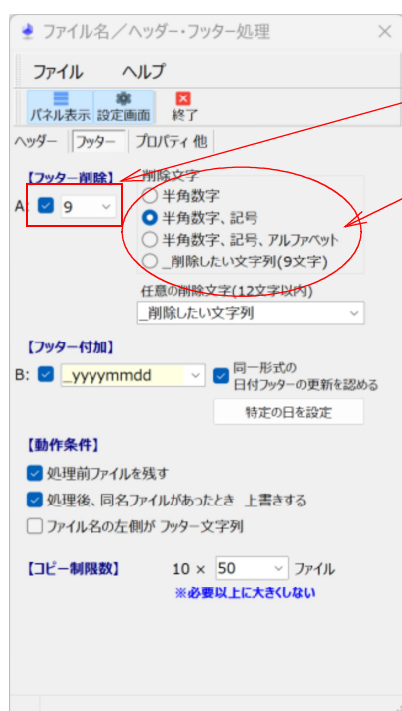
あつた

7. フッター処理設定

フッターは、日付や補助的な情報をファイル名に付加したものです。本プログラムではフッターとして付加的な文字列をファイル拡張子の手前あるいはファイル名の左側に配置します。任意のフッター文字列を一括して削除したり、バックアップファイルを作成することによってファイルやフォルダーのリビジョン管理ができます。

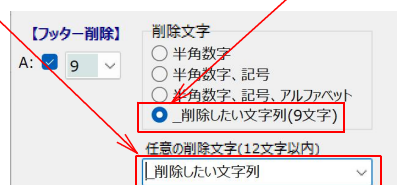
【フッター削除】

フッター削除では、任意の文字列のフッター（日付情報など）を削除します。

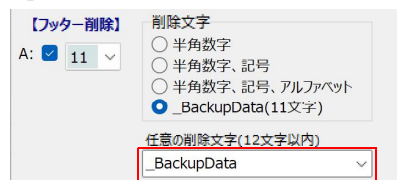


フッターの文字列数：1～12文字から選択する

フッターとして認識する文字種を選択する。
任意の文字列を設定するときは、1番下のラジオボタンを選択し、フィールドに削除文字列を入力する。



削除文字の例 _BackupData

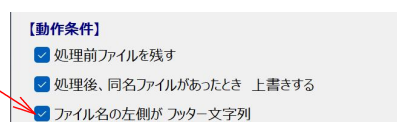
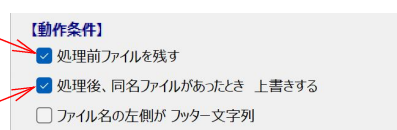


・動作条件を設定します

フッター削除前のファイルを残すときチェックします。

フッター削除後、同名のファイルがあったとき上書きします。チェックが外れていて、同名ファイルがあったとき、「フッター削除ができませんでした」というメッセージ画面が表示します。

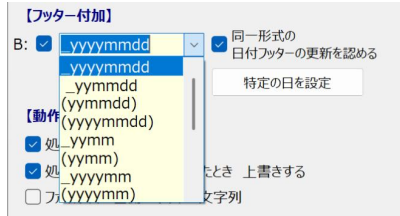
ファイル名の左側がフッター文字列のときチェックします。



(フッター文字列)[ファイル名文字列]

【フッター付加】－バックアップファイル作成－

フッター付加ファイルの作成では、通常では日付フッターですがプルダウンの初期リスト以外の任意の文字列でも可能です。

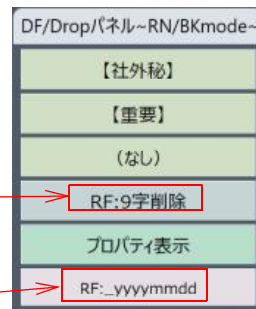


プルダウンリストから日付形式等を選択する。
任意の区切り文字と変更できます。

任意のフッター文字を使用することもできます。



_yyymmdd 形式のフッターでバックアップを作成する例



☐ 同一形式の日付フッターの更新を認める

通常チェックを入れる

入れないと、当日以外の日付フッターはファイル名として扱われる。

例えば 2025年10月10日に2025年9月10日作成の

TEST_20250910.txt をバックアップするとき

チェックが入っていないときは_20250910をファイル名と捉え TEST_20250910_20251010.txt となります。

チェックが入っていると_20250910を日付フッターとして扱い TEST_20251010.txt となります。

引き続きバックアップを進めると

TEST_20251010~01.txt となり99までリビジョン管理ができます。

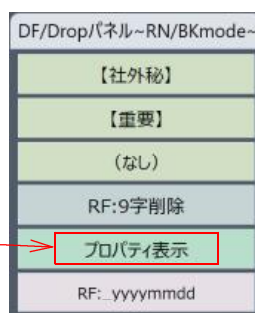
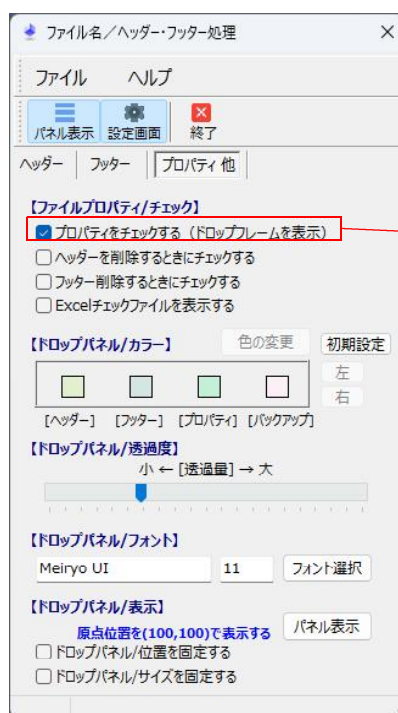


ファイル名の左側にフッター文字列を配置します。

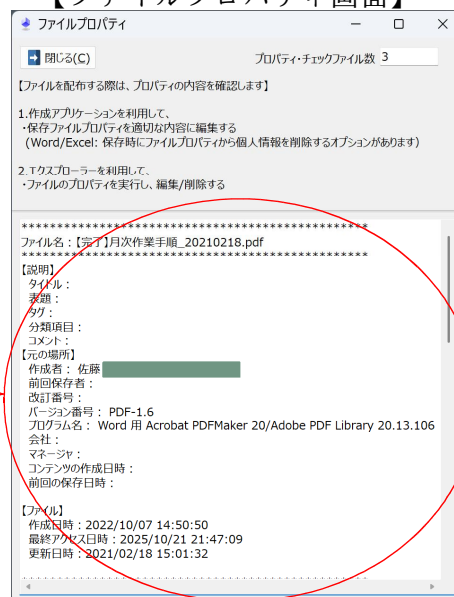
TEST.txt ファイルを2025年10月10日にバックアップすると 20251010_TEST.txt となります。

8. プロパティチェックほか設定

プロパティチェックはファイルを配布するまえにプロパティをチェックします。



【ファイルプロパティ画面】



プロパティ表示にドロップしたファイルのプロパティが表示します。

【ファイルプロパティ/チェック】

☒ プロパティをチェックする (ドロップフレームを表示)

☐ ヘッダーを削除するときチェックする

☐ フッターを削除するときチェックする

☐ Excelチェックファイルを表示する

チェック時に、それぞれ以下の動作条件が設定できます。

- ・ヘッダーを削除するときプロパティをチェックします。
- ・フッターを削除するときプロパティをチェックします。
- ・チェックするファイルで Excel を起動します。

【ドロップパネル/カラー】 色の変更 初期設定

左 右

【ドロップパネル/透過度】

小 ← [透過量] → 大

【ドロップパネル/フォント】

Meiryo UI 11 フォント選択

【ドロップパネル/表示】

原点位置を(100,100)で表示する

☐ ドロップパネル/位置を固定する

☐ ドロップパネル/サイズを固定する

パネル表示

ドロップのパネルの色設定やパネルの透過度設定
フォントサイズなどが変更できます。

ディスプレイの解像度設定によってドロップパネルが表示
できなくなったときに原点位置(100,100)に戻します。

ツインディスプレイ等使用時に
ドロップパネルの位置／サイズを固定した方が都合のよ
いときにチェックします。